

留学を終えて

美濃加茂高等学校 横山 緑（ロシア）

私は、AFS を通しての約 10 か月間のロシア留学でとても貴重な経験をたくさんさせていただきました。また、10 か月という長い期間を現地の学校に通いながら実際にロシアの家庭で生活し近所の方たちと触れ合うことで、ロシアの実際の生活や社会事情を知ることができました。

私が留学をしてみたいと思ったきっかけは、私の家で昔から受け入れている留学生の影響でした。今まで短期長期に関わらず、アメリカや中国、マレーシア、ドイツ、ベトナム、東ティモールなど英語圏ではない国の留学生のホストファミリーとしてたくさん経験し、交流してきました。中学生のころ、英検は持っていたものの、実際に英語で会話することはとても難しく感じていました。しかし受け入れを重ねるうちに、留学生と少しずつ会話できるようになり、英語を話すことが楽しい、もっと英語を使ってコミュニケーションをとりたいと思うようになりました。また、異なる国の留学生と接することで、他の文化を直接感じ、体験することができました。このような実体験を通して、世界で話す人口が多い英語を習得するのみではなく、他の言語を学んでみたい、そして他国の文化を直接現地で体験したいと強く感じるようになりました。

ロシアと日本の違いや共通点は現地で生活するいろいろな場面で感じられました。コミュニケーション文化の点においては、ロシア人はとても大きな声ではっきり話し、日本人と違い愛想笑いをしません。だから、最初それを目の当たりにしたとき、喧嘩をしているものだと思います。また、ロシア人は私たちがすぐに謝ってしまうような場面でも、自分の思ったことを主張します。なかなか自分の思いを相手に伝えられない私にとっては、このロシア人の性格はとても刺激的でした。

治安や文化の違いの点では、経済格差の広がりや民族問題により治安は悪化しているようです。普段の生活では治安が悪いと実感することはありませんでしたが、日本で見ることがなかったホームレスの方や物乞いをしている人を見て、ロシアでは経済格差が大きくなっていると身近に感じました。

文化においては、私たちが持っている国際パスポートとは別に、ロシア国内で自分自身を証明するための国内パスポートをロシア人は所持しています。日本で私たちが必要となる免許証の代わりのようなもので、お酒やたばこを買う際や銀行での手続きなどほぼすべての大切なことにこの国内パスポートが必要になります。

宗教観については、日本では無宗教の人が多いですが、ロシアではキリスト教の中でもロシア正教を信じている方が大半です。また、一般的に、クリスマスは 12 月 25 日に祝うことが多いですが、ロシアでは正教会に従うため新年が明けた後の 7 日に祝われ年明けにはパーティーを行う家庭が多くあります。このずれは、ロシアでは現在世界中で一般的に使用されているグリゴリオ暦ではなく、ユリウス暦を使用しているために起こります。

このように、10 か月間のロシアでの留学を通して、日本とロシアとの違いを深く知ることがで

きました。また自身の考え方にも変化があり、留学と比べてより広い考え方を持つようになりました。以前はあまり自己主張をせず、周りの意見に合わせてたり、流されてしまったりしたことが多かったですが、留学後は自身の考え方を主張できるようになりました。

今回の留学に関わっていただいた多くの皆さんに感謝し、これからも今回の留学で吸収したことをこれからの生活に活かしていきたいです。ありがとうございました。